

●入試名称 大 学 (問合せ先等)	学 部 (学群・学域)	学科-専攻 (学類)	募集人員	出 願 資 格				選 考 方 法		2018年度入試日程			備 考	2017年度入試結果					
				対象課程	出願時区分	現浪区分	成績基準	特定条件(取得資格・活動実績等) ・求める学生像等	C T 教科科目	小論文・面接・その他 *提出書類(志願票以外)	出願期間	試験日	合格発表	合否判定評価法, 小論文・面接の内容, 新增設, その他	出願者数 (エントリー数)	合格者数	競争率		
●AO入試 横浜国立大学 <教育学部> ★入試係 TEL(045)339-3261 〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-2 <経済学部> ★社会科学系経済学務係 TEL(045)339-3508 〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-3 <経営学部> ★社会科学系経営学務係 TEL(045)339-3663 〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-4 <理工学部> ★入試係 TEL(045)339-3821 〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5 <都市科学部> ★都市科学部学務係 TEL(045)339-3124 〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-6 要項: 〒215円 テレメールで請求 出願: 郵送	教育	学校<教科教育> <人間形成>	30	全	専	浪	×	小学校学校教員になろうとする強い意欲を有する人	5-7 5-8 6-7 6-8	1次=書類審査・提出課題レポート・小論文 2次=面接(面接官複数, 個別・プレゼンテーション 最終=CT (書類)自己推薦書(学修計画含む), 調査書等	9.8 9.14	<1次> 9.29 <2次> 10.21	10.6 11.6	[C T]900点満点で570点以上を最終合格者とする(発表2月5日) (注)小論文は附属学校で撮影した授業風景のビデオに基づいて与えられた課題について論述	110	21	5.2 (新規実施)		
		経済	15	全	専	浪	×	英検, TOEFL, TOEIC, IELTSいずれかのスコアを提出できる人 (注)本入試は経済学・経営学を中心に してGBEEP(Global Business and Economics教育プログラム)での学習を希望する者のための入試	2-3	1次=書類審査(募集人員の3倍を超えた場合に実施, 英語スコアにより選抜) 2次=面接 最終=CT [C T]数・外 (書類)自己推薦書, 英語スコア, 第1次選抜免除試験等にかかる証明書原本(該当者), 調査書等	10.12 10.18	<1次> - <2次> 12.18 (注)	11.17 1.10 (注)	(注)日本数学オリンピック予選Aランクと予選免除者, 数検1級, 日簿1級, 全経簿上級いずれかの有資格者は第1次選抜を免除 (注)最終合格発表=2月6日	21	1	21.0		
		経営	15	全	専	浪	×										35	6	5.8
		理工	機械・材料・海洋系 -海洋空間のシステムデザインEP	10	全	専	浪	×	(1)環境と調和しつつ世界中を駆けめぐる, “未来型の船舶・航空機”や, “斬新な海洋構造物”の設計エンジニアになりたい人, (2)海洋から大気圏さらに宇宙を活躍の場とする“船舶や航空機, 人工衛星の運用”の最適化を通して人や物資の流れを作り, 世界を一つにすることを目指したい人	3-4	1次=書類審査 2次=面接(数・物の口頭試問含む) 最終=CT (書類)自己推薦書, 調査書等	9.22 9.28	<1次> - <2次> 11.27 (注)	10.17 12.12 (注)	[C T]国・数(I A必須) ・英 (注)最終合格発表=2月5日	28	9	3.1	

●入試名称 大 学 (問合せ先等)	学 部 (学群・学域)	学科-専攻 (学類)	募集人員	出 願 資 格				選 考 方 法		2018年度入試日程			備 考	2017年度入試結果			
				対象課程	出願時区分	現浪区分	成績基準	特定条件(取得資格・活動実績等) ・求める学生像等	CT 教科 科目	小論文・面接・その他 *提出書類(志願票以外)	出願期間	試験日	合格発表	可否判定評価法, 小論文・面接の内容, 新增設, その他	出願者数 (エントリー数)	合格者数	競争率
●AO入試 横浜国立大学 (続)	都市科学	都市社会共生	10	全	専	浪	×	(1)現代社会においてダイバーシティが生み出す様々な問題と可能性の本質を理解した上で、技術・自然・人が共生した都市社会の創成に貢献したい人、(2)歴史を通じて培われてきた芸術や現代の文化が都市創成で果たす役割を学び、文化や芸術が持つ多様性を生み出す力で都市や社会を豊かにしたい人、(3)国内外を問わず、都市化によって生み出される周縁化の問題を理解し、ダイバーシティに配慮した社会開発の策定・実践を行いたい人	3-3	1次=書類審査 2次=文章実技(作文・600字)・口頭試問 最終=CT 〔CT〕国・外必須, 地公・数から1教科 〔書類〕自己推薦書, 学習計画書, 調査書等	9.25 ~ 9.29	<1次> - <2次> 11.18	11.1 12.6 (注)	(注)口頭試問→主に志望動機・入学後の学習計画等に関する質疑を行う (注)文章実技→思考力・表現力を考査する (注)最終合格発表=2月6日	47	9	5.2
		建築	7					(1)建築の思想を中心に芸術から工学まで幅広く学び、これからの時代を担う建築を都市の中に構想できる創造的な建築家になりたい人、(2)自然災害に強く安全な建築や街づくりに貢献したいと願い、そこに集い住まう人たちの生命と財産を守ることができる建築構造エンジニアや建築構造デザイナーになりたい人、(3)自然と調和した住空間のデザインスキルを身につけ、地球環境との均衡を保ちつつ人々の健康で快適な生活を実現できる建築環境設備エンジニアになりたい人など (注)履修条件→数ⅠⅡⅢAB	×	1次=書類審査・実技試験 2次=口頭試問 〔書類〕自己推薦書, 履修申込証明書, 調査書等	9.25 ~ 9.29	<1次> 10.21 <2次> 11.18	11.1 12.6	(注)実技試験→造形に関する思考力・表現力の検査 (注)口頭試問→論理的思考力・理解力・表現力の考査を行う	63	8	7.9
		都市基盤	10					(1)自然環境との調和や共生など地球の観点に立ってより良い都市や国土の創造に興味がある人、(2)地震、台風、火山、豪雨、津波などの自然災害から都市や社会を守るために、土木工学の基礎学理をリスクマネジメントに応用して、防災・減災の取り組みをしたい人、(3)IT/ビッグデータなどの最先端技術/情報と土木工学を融合させ、社会基盤の整備、維持管理や運営に活用して、都市や社会生活を豊かにしたい人など	×	1次=書類審査 2次=口頭試問(プレゼンテーション含む) (注)口頭試問に先立って評価シートの記述を行う 〔書類〕自己推薦書, 調査書等	9.25 ~ 9.29	<1次> - <2次> 11.18	11.1 12.6	(注)口頭試問→主に志望動機等に関する質疑, 数(ⅠⅡⅢAB)・理(物基・物)およびそれらに関連する総合的な能力の検査, 物理的・社会的現象を対象とした課題に対するプレゼンテーションとそれに関する質疑を行う	38	10	3.8

●入試名称 大学 (問合せ先等)	学 部 (学群・学域)	学科-専攻 (学類)	募集人員	出 願 資 格				特定条件(取得資格・活動実績等) ・求める学生像等	C T 教科 科目	選 考 方 法 小論文・面接・その他 *提出書類(志願票以外)	2018年度入試日程			備考 合否判定評価法, 小 論文・面接の内容, 新增設, その他	2017年度入試結果		
				対象課程	出願 時区 の分	専 願 区 分	現 浪 区 分				成 績 基 準	出願 期 間	試 験 日		合 格 発 表	出願者 数	合格者 数
●AO入試 横浜国立大学 (続)	都市科学	環境リスク共生	10	全	専	浪	×	(1)個別知識では対応できない複雑で多様化した環境リスクに対し, ヒトから都市, 自然生態系, 地球までのシステム全体を視野に入れた知識展開力を備えた人, (2)豊かさと表裏一体で生じるリスクとのバランスをマネジメントする「リスク共生」社会実現を目指し, 自然環境と社会環境の各リスクを科学的に捉える数理的思考力, ヒト・社会と対話できる社会学的思考力を併せ持つ文理融合的素養を備えた人, (3)都市に恵みや災いをもたらす自然システムや地域に潜む環境リスクを予測・評価・分析し, リスクと共生した持続的発展に貢献できる実践力を有する人	5-7	1次=書類審査 2次=実習(実際の研究材料や資料, データなどを調べて, 結果をまとめて発表) 最終=CT (書類)自己推薦書, 調査書等	9.25 ~ 9.29	<1次> - <2次> 11.18	11.1 12.16 (注)	(注)実習→環境学への興味とセンス, 思考力, 発想力, 表現力の検査 [C T]国200点, 地公250点, 数450点, 理(物・化・生・地学から2科目)350点, 外300点, 計1,550点 (注)最終合格発表=2月6日	16	13	1.2